

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	万崎建替公営住宅第一期建設工事	階数	地上7F
建設地	大阪府堺市西区草部1018番地1	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住居専用地域、準防	平均居住人員	426人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年12月 予定	評価の実施日	2020年7月30日
敷地面積	11,257 m ²	作成者	寺田 優希
建築面積	2,193 m ²	確認日	2020年8月24日
延床面積	9,048 m ²	確認者	岩本 磨生



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

①参照値 100%
②建築物の取組み 74%
③上記+②以外の 74%
④上記+ 74%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.5

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.6

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.9

LR のスコア = 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
建物の長寿命化や更新性、メンテナンス性に配慮した計画としている。	照明器具は外灯も含め、長寿命のLED採用している。	
Q1 室内環境 内装材は規制対象外、又は、F☆☆☆☆の建材を使用し、シックハウスに配慮している。	Q2 サービス性能 住棟内外および住戸内はバリアフリーとし、高齢者等へ配慮している。	Q3 室外環境(敷地内) 緑地を出来る限り多く確保している。歩車分離に配慮した配置計画を行い、敷地内の安全に配慮している。
LR1 エネルギー 太陽光発電設備(9.72kw)を採用し、使用電力量の低減に配慮している。給湯器は潜熱回収型給湯器を採用している。	LR2 資源・マテリアル 内装パネル工法の採用により、躯体と仕上げ材が容易に分別可能としている。	LR3 敷地外環境 住棟を出来る限りセットバックすることで、周辺環境への圧迫感を軽減するように配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



1. 建物概要	建物名称	万崎建替公営住宅第一期建設工事(第1工区)	BEE	BEEランク
	建設地	大阪府堺市西区草部1018番地1	1.5	A
	主用途/延床面積	集合住宅 / 9,048.01 m ²		

2. 重点項目への取組み

重点項目	評価点	取組み度
CO ₂ 削減	4	●●●●●
みどり・ヒートアイランド対策	2	●●●●●
エネルギー削減	5	●●●●●
建物の断熱性	4	●●●●●
安全快適な暮らし	4	●●●●●
自然エネルギー利用	○	

再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	○	風力	-	地熱	-		
	太陽熱利用	-	水力	-	バイオマス	-		

3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア

CO ₂ 削減	評価項目	スコア	評価点
地球温暖化への配慮	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値	4.0	4
みどり・ヒートアイランド対策	評価項目	スコア	評価点
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値	1.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価値	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価値	2.0	
エネルギー削減	評価項目	スコア	評価点
設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値	5.0	5
建物の断熱性	評価項目	スコア	評価点
建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値	4.0	4
安全快適な暮らし	評価項目	スコア	評価点
バリアフリー計画	CASBEE「Q2-1 1. 1. 3」のスコアによる評価値	3.0	4
耐震・免震	CASBEE「Q2-2 2. 1」のスコアによる評価値	3.0	
地域性への配慮、快適性の向上	CASBEE「Q3-3 3. 1」のスコアによる評価値	4.0	
交通負荷抑制	CASBEE「LR3-2 2. 3. 3」のスコアによる評価値	4.0	
自然エネルギー利用	評価項目	スコア	評価点
自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値	3.0	○

4. その他

技術の名称	考慮事項
太陽光発電設備(9.72kw)	
特に配慮した事項	
特になし。	